

クスリのアオキホールディングス株式ファンド (確定拠出年金向け)

運用報告書(全体版)

第2期(決算日2020年10月8日)

作成対象期間(2019年10月9日～2020年10月8日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2019年3月18日以降、無期限とします。
運用方針	原則として、株式会社クスリのアオキホールディングス(以下「クスリのアオキホールディングス」といいます。)の発行する普通株式のみに投資を行い、当該株式の値動きに連動した投資成果を目指して運用を行います。追加設定・一部解約があった場合には、原則として当該追加設定・一部解約の当日に株式の買付けまたは売却を行い、株式の組入れ比率を高位に維持することを目指します。
主な投資対象	原則として、クスリのアオキホールディングスの発行する普通株式のみに投資を行います。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金			
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
2019年3月18日	10,000		—	—	—	—	15
1期(2019年10月8日)	10,841		5	8.5	97.7	—	24
2期(2020年10月8日)	11,323		5	4.5	99.5	—	67

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

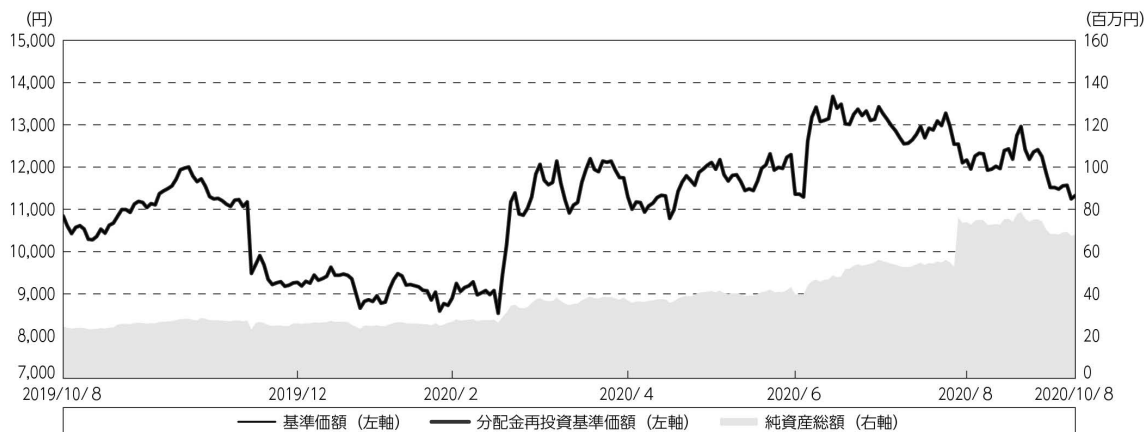
年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	式 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2019年10月8日	10,841		—	97.7	—	—
10月末	10,994		1.4	97.2	—	—
11月末	11,302		4.3	99.7	—	—
12月末	9,271		△14.5	99.9	—	—
2020年1月末	8,951		△17.4	97.5	—	—
2月末	8,900		△17.9	98.4	—	—
3月末	12,064		11.3	99.2	—	—
4月末	11,295		4.2	98.3	—	—
5月末	11,953		10.3	98.3	—	—
6月末	11,361		4.8	99.8	—	—
7月末	13,266		22.4	99.5	—	—
8月末	12,169		12.2	99.1	—	—
9月末	11,519		6.3	99.1	—	—
(期 末)						
2020年10月8日	11,328		4.5	99.5	—	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：10,841円

期 末：11,323円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率： 4.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年10月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

クスリのアオキホールディングスの株価の変動

○投資環境

国内株式市場は、期首より米中貿易協議において歩み寄りが見られたことや、日米企業の2019年7－9月期決算が事前予想に対して良好な滑り出しとなったことなどから上昇しました。その後も米中貿易協議の進展への期待が続いたこと、英国の総選挙において保守党が大勝し英国のEU（欧州連合）離脱を巡る不透明感が薄らいだことなどから堅調に推移しました。

2020年1月中旬以降、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が世界景気に悪影響をもたらすとの見方から軟調に推移し、2月下旬以降は、世界的な感染拡大に対する警戒感などを受けて大きく下落しました。3月下旬に、各国中央銀行が金融市場への大規模な下支え策を発表したことで先行きに対する過度な不安が和らいだことなどを受けて上昇に転じました。

5月下旬以降は、新型コロナウイルスのワクチン開発報道が相次いだことや国内外の経済活動再開による景気回復期待が高まったことなどから一段と上昇しました。その後、米中対立が再度激化するとの懸念が高まったことなどで一時は下落したものの新型コロナウイルスのワクチン供給への期待感や菅新政権の政策継続への安心感などから堅調に推移しました。

一方、クスリのアオキホールディングスの株価は、期首より既存店の大幅増収が好感されたことなどから堅調に推移しました。2019年12月に発表した決算において、経常利益予想を下方修正したことなどを受け下落しました。その後、マスクや消毒液などの売れ行きが伸びたことなどを背景に、上方修正を期待する買いが広がり、2020年7月に発表した決算において、経常利益が増加したことなどから株価は一段と上昇しました。しかし、9月に発表した決算において通期の減益予想が据え置きであったことなどから下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

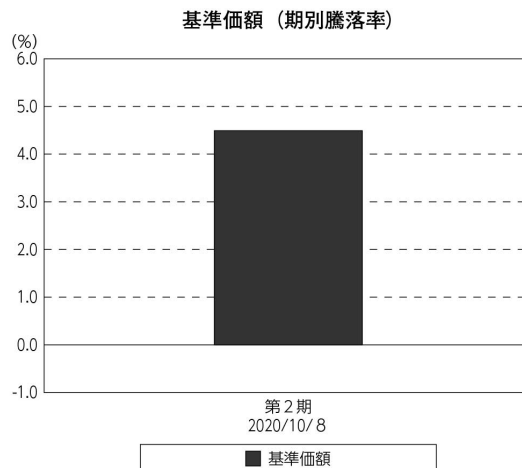
・株式組入比率

株式の組入比率は、期を通じ高位に維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金は、今期の経費控除後の配当等収益から決定させていただきました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第2期
	2019年10月9日～ 2020年10月8日
当期分配金	5
（対基準価額比率）	0.044%
当期の収益	—
当期の収益以外	5
翌期繰越分配対象額	1,323

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

今後も、主要投資対象であるクスリのアオキホールディングスの発行する普通株式を高位に組入れ、引き続き、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年10月9日～2020年10月8日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 134	% 1.210	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(122)	(1.100)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(6)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.045	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(5)	(0.045)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.003	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	139	1.258	
期中の平均基準価額は、11,087円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

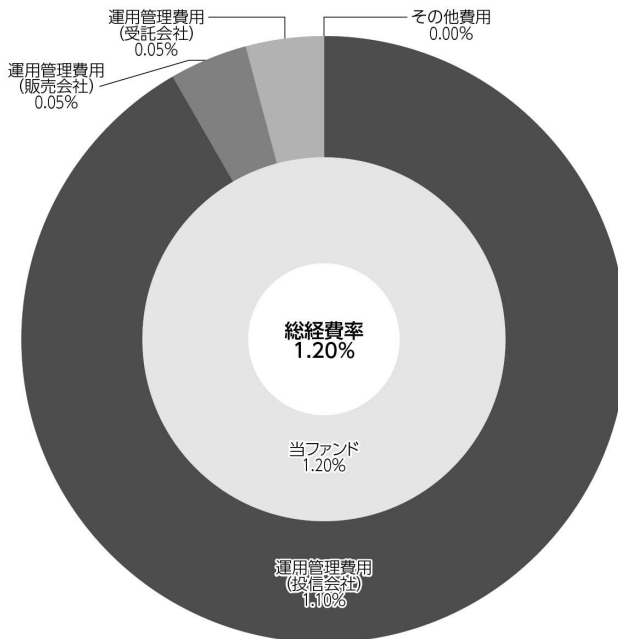
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.20%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年10月9日～2020年10月8日）

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 5	千円 49,137	千株 0.6	千円 4,733

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○株式売買比率

（2019年10月9日～2020年10月8日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	53,871千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	39,949千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.34

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2019年10月9日～2020年10月8日）

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
株式	百万円 49	百万円 1	% 2.0	百万円 4	百万円 -	% -

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	17千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.435千円
(B) / (A)	2.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2019年10月9日～2020年10月8日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 15	百万円 -	百万円 -	百万円 15	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年10月8日現在)

国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
		千株	千株	千円	
小売業 (100.0%)					
クスリのアオキホールディングス		3	8	67,520	
合 計	株 数 ・ 金 額	3	8	67,520	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	< 99.5% >	

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年10月8日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
株式	千円 67,520	% 99.0
コール・ローン等、その他	670	1.0
投資信託財産総額	68,190	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年10月8日現在）

○損益の状況（2019年10月9日～2020年10月8日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	68,190,829
コール・ローン等	670,829
株式(評価額)	67,520,000
(B) 負債	337,079
未払収益分配金	29,962
未払信託報酬	306,347
その他未払費用	770
(C) 純資産総額(A－B)	67,853,750
元本	59,924,370
次期繰越損益金	7,929,380
(D) 受益権総口数	59,924,370口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,323円

(注) 期首元本額は22,546,823円、期中追加設定元本額は42,331,426円、期中一部解約元本額は4,953,879円、1口当たり純資産額は1,1323円です。

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	74,671
受取配当金	75,000
支払利息	△ 329
(B) 有価証券売買損益	△ 868,333
売買益	393,407
売買損	△1,261,740
(C) 信託報酬等	△ 471,244
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,264,906
(E) 前期繰越損益金	1,589,525
(F) 追加信託差損益金	7,634,723
(配当等相当額)	(3,172,347)
(売買損益相当額)	(4,462,376)
(G) 計(D+E+F)	7,959,342
(H) 収益分配金	△ 29,962
次期繰越損益金(G+H)	7,929,380
追加信託差損益金	7,634,723
(配当等相当額)	(3,172,347)
(売買損益相当額)	(4,462,376)
分配準備積立金	1,559,563
繰越損益金	△1,264,906

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2019年10月9日～2020年10月8日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年10月9日～ 2020年10月8日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	6,369,817円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,589,525円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,959,342円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,328円
g. 分配金	29,962円
h. 分配金(1万口当たり)	5円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	5円
-----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。